



カラマツ未利用材を機械を使って、手際よく割って いく参加者(薪の学校=旧田野小学校)

未利用木材を有効活用 山から集めてまき作り

くずまき高原里山実行委員会(竹川高行委員長・会員 24人)は4月12日、薪の学校(旧田野小学校)でカラマ ツの未利用材を使ったまき作りを行いました。

この日の作業には同会員のほか地元住民ら約20人が参加。カラマツ伐採後に山に残された未利用材をトラックで運び出し、チェーンソーで長さを調整し、機械やおのを使って木材を割りまきを作りました。参加者には労働対価として「木棒券」を配り、秋に乾燥後のまきと交換します。

竹川委員長は「山に残れば腐ってしまう木材を価値ある ものに変える。この取り組みを今後も定期的に開催し、利 用促進につなげていきたい」と言葉に力を込めます。

新入生を代表して力強く宣誓する菅野一樹さん

それぞれの希望を胸に 葛巻高校に新入生38人

県立葛巻高等学校(梅津久仁宏校長・生徒122人)の第45回入学式は4月8日、同校体育館で行われ、新入生38人(うち町外から9人)が希望に満ちた高校生活をスタートさせました。

式では、梅津校長が「積極的かつ意欲的に先生方や先輩方に飛び込み、多くのことを学んでほしい」と式辞を述べ、鈴木重男町長が「一人一人の夢がかなう3年間にしてほしい」と祝辞を送りました。

また、新入生を代表して菅野一樹さん(葛巻中学校卒)が「誇りと自覚を胸に、充実した高校生活を送れるよう日々努力します」と力強く宣誓しました。

五日市でそば打ち教室 被災者との交流深める

五日市地区の手打ちそば教室は4月10日、五日市生活改善センターで行われ、東日本大震災の被災者や地区住民ら9人が参加し、交流を深めました。参加者は、地区のそば打ち名人・川下ミキさん(77歳)と馬場トミさん(72歳)の手ほどきを受け、会話を楽しみながら熱心にそば打ちに励みました。

陸前高田市で被災し、現在北上市在住の安原美通さん(72歳)は3月19日の岩手日報で当地区のそば打ちを知り、今回の教室に参加。安原さんは「快く受け入れてくれた皆さんに感謝します。つなぎに豆腐を使う方法に興味を持ちました。そば打ちは初めてだけど難しいね。葛巻ならではの打ち方を広めていきたい」と充実した表情を見せました。



そば打ちを指導する川下ミキさん街と馬場トミさん を、そば打ち初体験の安原さん(左から2人目)

山地酪農研修センター 県内外から5人が入所

町山地酪農研修センターの入所式は4月7日、くずまき高原牧場プラトーで行われました。第35期生となる今年度の研修生は、町内から2人、町外から3人の計5人。これから1年間、くずまき高原牧場内での酪農やサービス部門の研修を積みます。

式では、鈴木町長が「直面するピンチに果敢に挑戦し、 自分の道をしっかり決める研修にしてほしい」とあいさつ。 研修生を代表して北海道帯広市出身の島田綾さん(26歳)が「一日一日の時間を大切にして、学び得た知識や技術を 町の発展に役立てられるよう努力します」と研修への誓い の言葉を述べました。



左から酒井春奈さん(埼玉県深谷市)、大石佳有さん(小屋瀬)、向川原弥生さん(橋場)、島田綾さん(北海道帯広市)、伊藤駿さん(矢巾町)※())内は出身地

生徒を代表し、舘洞交通課長から指定書を受け取る竹 田晴登さん

自転車マナーを守ろう 葛巻中がモデル校指定

岩手警察署は4月15日、葛巻中学校(菊池敏宏校長・ 生徒77人)を自転車のマナーアップと盗難防止のモデル 校に指定しました。同校の指定は2年連続となります。

同校グラウンドで行われた指定書交付式で、同署の舘洞嗣雄交通課長が「自転車での片手運転や2人乗り、並進は絶対に禁止。夜間のライト点灯や鍵掛けを徹底しましょう」と呼び掛け、竹田晴登さん(3年)に指定書を手渡しました。 六角優希さん(3年)が「これから1年間事故を起こさないように気を付けます」と生徒を代表し宣誓しました。

この日は交通安全教室も行われ、生徒は自転車の交通 ルールや安全な乗り方に理解を深めました。



山火事注意の横断幕を掲げパレードする消防団員ら はんてんを着用し、元気よく沿道で山火事防止を呼び 掛ける五日市保育園の園児

消防団員らパレードで 山火事防止を呼び掛け

町山火事防止対策協議会は4月16日、山火事防止パレードを実施。町消防団員、葛巻分署員、町森林組合職員など約40人が参加しました。

役場前で行われた出発式で觸澤義美副町長が「町民の防 火意識を高めていただき、町の貴重な財産である山と緑を しっかり守ってほしい」と呼び掛けました。

関係者らは消防車両など18台に分乗し、山火事注意の横断幕を掲げ、町内3方向へ分かれてパレードしました。

五日市保育園では3歳以上の園児9人が「山火事にきをつけて」と書いたうちわを手に持ち、沿道で山火事防止を呼び掛けました。